

道路・河川の維持管理

1 道路

道路を常に安全で快適な状態で利用していただくために、次のような業務を行っています。

- 道路のバトロール
- 損傷した路面、側溝等の補修
- 路面清掃
- 橋梁・トンネル・照明・標識等の点検・補修
- 路肩や道路植栽帯の除草管理
- 積雪時の除雪や路面凍結防止対策



道路のバトロール

2 社会資本の長寿化

橋梁、舗装、道路アンダー等の社会資本について定期的に点検を実施し、計画的かつ効率的に補修を行うことにより、施設の長寿化を推進します。



橋梁点検状況



橋梁補修状況

3 河川・砂防

水害や土砂災害等に備え、河川や砂防施設の正常な機能を維持するために、次のような業務を行っています。

- 河川・砂防施設のバトロール
- 損傷した河川堤防の補修
- 堤防等の草刈りや清掃
- 護岸、床固め等の構造物の点検及び補修工事
- 排水ポンプ車等による内水の排除
- 油流入等による異常水質事故の対応



排水ポンプ車の訓練状況

ダム管理(松田川ダム)

ダムの安全・正常な利活用のために、次のような業務を実施しています。

1 施設管理

- 各施設の点検・整備
- ダムの観測・計測
- 貯水位の水位・ダムの傾き
- 地震時のゆれ・ダムの水質等

2 機能管理

- 雨量などデータ収集
- 洪水調節
- 下流の見廻り・放流操作
- 利水補給・放流操作

■ダムの種類：重力式コンクリートダム	■ダムの体積：16万6千m ³
■完成年度：平成7(1995)年度	■貯められる水の量：190万m ³
■ダムの高さ：56m	■ダムの湖の面積：0.11km ²
■ダムの長さ：228m	■雨が湖に流れ込む区域：4km ²



ダムカードを配布しています。詳しくは県のHPをご覧ください。

許認可事務

1 道路法

- ①道路占用許可
道路を使用(占用)する場合には、許可が必要です。
- ②道路工事事業承認
車両乗入口の設置や取付け道の設置等道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要です。

2 河川法

河川区域内において土地を使用(占用)したり、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合や、河川保全区域内において、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合には、許可が必要となります。

3 砂防法

次の区域内へ盛土、切土等を行う場合には、各法律に基づく許可が必要です。

- ①砂防指定地(砂防法)
- ②急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)
- ③地すべり防止区域(地すべり等防止法)

4 土砂災害防止法

土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。



栃木県 安足土木事務所(足利庁舎)

〒326-8555 栃木県足利市伊勢町4-19
TEL:0284-41-2331(代表) FAX:0284-41-1052

保全第二部(安蘇庁舎)

〒327-8503 栃木県佐野市堀米町607
TEL:0283-24-3111(代表) FAX:0283-24-3176



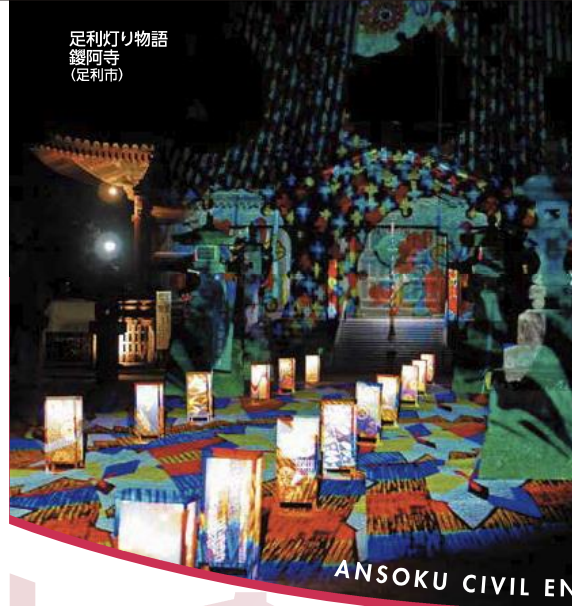
HPアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/h59/index.html>

E-mail ansoku-dj@pref.tochigi.lg.jp



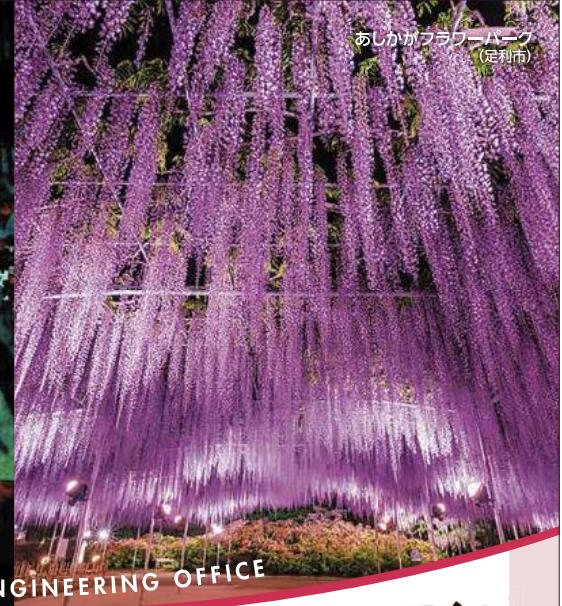
本製品は、①適切に管理されたFSC®認証林およびその他の管理された供給源からの原材料で作られた紙を用いて「森林資源保全」に、②石油系溶剤の一部を植物油に置き換えたインキを使用し光化学スモッグの原因となるVOC(揮発性有機化合物)を削減して「大気保全」に、③ご利用後に「印刷用の紙に再生できる」よう配慮して、④GP認定工場で印刷し、発行しています。

足利灯り物語
鑿阿寺
(足利市)



ANSOKU CIVIL ENGINEERING OFFICE

あしががフラワーパーク
(足利市)



栃木県

安足土木事務所 2024



とちまるくん
あんそくどぼくver.
©栃木県 とちまるくん



唐沢山
(佐野市)

出流原弁天池
(佐野市)

栃木県 安足土木事務所



■管内の概要

安足土木事務所は、平成22年4月に佐野土木事務所と足利土木事務所の統合により誕生した事務所です。管内は、県南を代表する足利市・佐野市の2市で構成され、栃木県の南西部に位置しています。

地勢は、関東平野の北端に連なる山岳地帯及び平野部との接点にあり、東部は栃木市に、西部は群馬県桐生市に、南部は渡良瀬川を挟んで群馬県太田市・館林市に、北部は鹿沼市・群馬県みどり市に接しています。管内の面積は約534km²で県全体の約8%、人口は約25万人で約13%を占めています。

管内の2市は、市街地の北部に美しい山並みを望む自然豊かな都市です。それぞれ、古くから織物や鑄物の町として産業が発展し、近年は、機械器具、プラスチック製品、金属製品製造業等が集積した産業都市となるとともに、両毛地域の商業都市となっています。また、両市ともに、「小京都」の認定を受けるなど、国宝に指定された歴史的に重要な史跡や美しいまちなみが残されています。足利市にあっては、足利氏ゆかりの「饅阿(ぼんあ)寺」、日本最古の総合大学として知られる「足利学校」等、佐野市にあっては、藤原秀郷の居城であり、「全国山城サミット」が開催された「唐沢山城跡」等の歴史・文化遺産が各所にあります。その他にも、管内には藤の花で知られる「あしかがフラワーパーク」、「足利花火大会」、「佐野プレミアム・アウトレット」、「佐野厄除大師」、「道の駅どまんかたぬま」等の名所やイベントも数多く、県内外からの多くの観光客で賑わっています。

交通網は、東西に、北関東自動車道、国道50号、国道293号及びあしかがフラワーパーク駅が新設されたJR両毛線、南北に、東北自動車道及び東武鉄道伊勢崎線、佐野線が通っており、各方面へのアクセスがしやすい交通の要衝となっています。県が管理する道路は、国道2路線(国道293号、国道407号)、主要地方道12路線、一般県道40路線の合計54路線、総延長約340km、河川は、渡良瀬川にそそぐ秋山川・袋川等の合計26の一級河川、総延長約228kmです。また、その他にも、砂防指定地・急傾斜地崩壊危険区域224箇所及び松田川ダムを管理しています。



安足土木事務所管内市町
 令和6(2024)年1月1日現在
 足利市 面積 117.76km² 人口 139,443人
 佐野市 面積 356.04km² 人口 112,876人

■管内のデータおよび栃木県に占める割合

区分	栃木県(A)	安足土木事務所管内(B)	B/A	調査年月日	
面積	6,408.09km ²	533.80km ²	8.3%	R5(2023).10.1	
人口	1,892,519人	252,319人	13.3%	R6(2024).1.1	
市数	25市町	2市	8.0%	R6(2024).4.1	
県管理国道	路線数	12路線	16.7%	R5(2023).4.1	
	延長	696,901m	27,454m	3.9%	//
	舗装率	99.6%	100%	—	//
県道	路線数	294路線	52路線	17.7%	//
	延長	2,887,052m	312,844m	10.8%	//
	舗装率	96.6%	98.8%	—	//
県管理国道及び県道延長合計	舗装率	88.4%	92.7%	—	//
	延長	3,583,953m	340,298m	9.5%	//
	橋梁数	2,810橋	320橋	11.4%	//
県管理	一級河川数	292河川	26河川	8.9%	R6(2024).4.1
	一級河川延長	2,474.30km	228.11km	9.2%	//
砂防指定地	箇所数	1,597箇所	154箇所	9.6%	R6(2024).1.1
	面積	7,239.09ha	552.32ha	7.6%	//
急傾斜地崩壊危険区域	箇所数	280箇所	70箇所	25.0%	//
	面積	386.88ha	87.95ha	22.7%	//
県営住宅数	7,148戸	1,314戸	18.4%	R6(2024).4.1	
都市計画区域	413,344ha	31,030ha	7.5%	//	
市街化区域	30,165ha	6,243ha	20.7%	//	
用途地域	38,919ha	6,243ha	16.0%	//	

■事業執行に関する基本方針

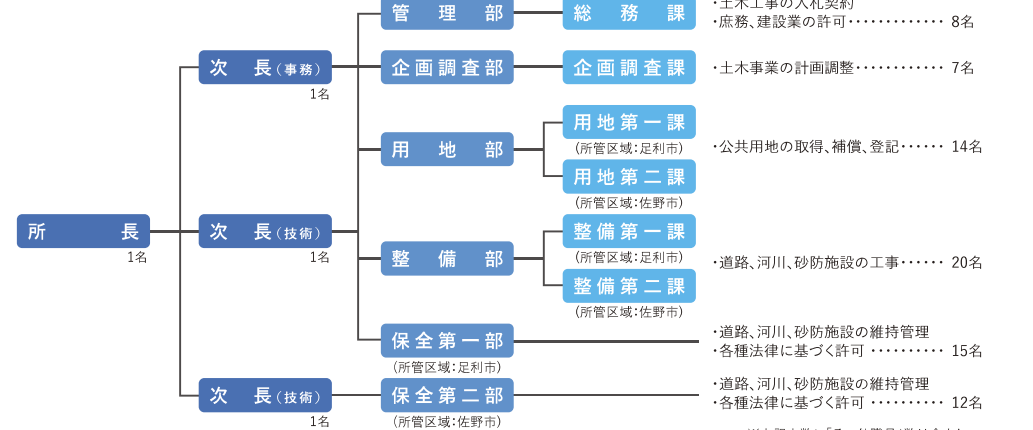
栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」および「県土づくりプラン2021」の4年目を迎え、めざすとちぎの将来像「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するために、重点施策を着実に実施し、両毛地域の発展に努めます。

■執行方針

〈組織目標〉 ～ 足利市・佐野市と連携、協働して両毛地域の未来を支える基盤づくり～

安全・安心で住みやすく 災害に強い両毛地域づくり	地域間の道路ネットワーク強化 による両毛地域づくり	恵まれた立地条件や 歴史的な文化遺産を活用した 魅力と活力に溢れる両毛地域づくり
▶誰もが安全で安心して利用できる道づくり <ul style="list-style-type: none"> ● 通学路など子供たちの移動経路における歩道整備の推進 (一)佐野太田線/足利市福福町 (二)佐野田沼線/佐野市上町西 等 ● 事故危険箇所における安全対策の推進 (都)毛野西新井線/足利市西新井町 等 ● 学校・警察等との連携による通学路等の合同点検の着実な実施、安全対策の推進 	▶成長を支える広域道路ネットワークの充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ● 人やモノの流れを支える広域道路ネットワークの充実・強化 (一)築地吉水線/佐野市築地・中 (二)竜舞足利線/足利市山下町(スマートIC) 等 ● 都市間の連携・交流を支える幹線道路ネットワークの充実・強化 (国)293号/足利市田所町 (都)前橋水戸線/佐野市大橋 等 	▶未来を見据えた持続可能な道路管理 <ul style="list-style-type: none"> ● 斜面崩落等を防止する道路の防災対策の推進 (一)松田大月線/足利市松田町、 (二)名草小俣線/足利市松田町 等 ● 公共土木施設等の計画的な点検と効果的な修繕等による長寿命化対策の推進 (一)佐野太田線/足利市川崎橋、 (二)寺岡館林線/佐野市高橋大橋 等
▶台風等による被災箇所の早期復旧と再度災害の防止 <ul style="list-style-type: none"> ● 被災した河川・道路など公共土木施設等の早期復旧 ● 治水機能の向上に向けた改良復旧事業の推進 一級河川秋山川/佐野市大橋町 (河川)激甚災害対策特別緊急事業 ● 堤防強化、堆積土除去等による防災・減災対策の推進 	▶快適で円滑な移動を支える道づくり <ul style="list-style-type: none"> ● 観光地へのアクセス道路の整備や渋滞対策の推進 (都)前橋水戸線/足利市八門町 等 ● 主要渋滞箇所における渋滞対策の推進 (都)赤見馬門線/佐野市高萩町 等 	▶「とちぎのスマート+コンパクトシティ」の実現 <ul style="list-style-type: none"> ● 道路のバリアフリー化による誰もが使いやすい道路空間の創出 (国)293号/足利市西砂原後町・福込町、 (都)前橋水戸線/佐野市高砂町 等
▶あらゆる関係者との協働による流域治水対策 <ul style="list-style-type: none"> ● 洪水による被害を防ぐ河川整備の推進 一級河川荒川/足利市高松町、一級河川菊沢川/佐野市船津川町 等 ● 土砂災害による被害を防ぐ砂防施設の整備推進 足利工高西/足利市西宮、高原沢/佐野市仙波町 等 ● 国・県・市町・企業・住民などが一体となって取り組む流域治水対策の推進 一級河川尾名川/足利市、一級河川旗川/足利市・佐野市、 一級河川小曾戸川/佐野市(浸水対策) 等 	▶都市の骨格づくりと治水安全度向上 (都)家富町堀込線/足利市中橋	▶地域資源を活かしたサイクルツーリズム <ul style="list-style-type: none"> ● 地域資源を活かした魅力的なサイクリング環境の創出 ● サイクリストの期待に応える安全で快適な走行環境の整備

■組織図



職員数：88人(事務職員30人[足利市派遣職員1人、佐野市派遣職員1人]、技術職員40人、現業職員6人、その他職員12人)
 その他職員：12人(用地事務支援員2人、道路河川ダム監視員7人、事務補助員3人)